

タイトル	型紙糊防染技法による藍染めハンカチの制作			
学校名	千葉県立 佐倉 高等学校	美術・工芸	氏名	轡 孝之
教材費	約 1500 円		実施時間数	1 8 時間

### 1. ねらい

デザインの発想および図案化する過程をシステムとして体験させることができるため、工芸授業の最初の課題に適している。また普段目にすることのない材料や道具を使用することで、伝統的に培われてきた工芸作品の制作技法を経験することができる。様々な過程を経てモノを作り上げることに對する達成感や喜びを感じることができる課題である。

### 2. 材料

#### ○消耗品

・ 渋紙（八丁薄口）・紗（細目）・カシュー塗料・型糊（糯米、糠）・綿ローンハンカチ

#### ○染料

・ 大和藍（藍熊染料）または紺屋藍（せいわ）・ハイドロコク・ソーダ灰・顔料・色止め剤  
 ＊上記の藍は本藍を元に扱いやすく加工した商品で長期にわたり使い続けることができる。

#### ○道具

・ デザインカッター・カッターマット・出羽ペラ・色差し刷毛・アイロン・ドライヤー

### 3. 展開（時間）

#### 【デザイン】 4 時間

- ・ 図鑑などを元に植物、昆虫、鳥類、動物などをスケッチする。なるべく様々なものを描く。
- ・ スケッチを切り絵的に繋がりや線の太さを意識してまとめる。
- ・ 構成を考え組み合わせる図案とする。

#### 【型紙制作】 6 時間

- ・ 図案をスプレー糊で渋紙に仮貼りする。後で剥がすことを考慮して糊塗布後充分時間をおく。
- ・ カッターマット上でデザインカッターで切り抜いていく。細かい部分から切ること。
- ・ 切り終えたら図案を剥がし、紗を渋紙にのせカシュー塗料で補強する。

#### 【糊置き】 3 時間

- ・ あらかじめ水に浸しておいた型紙の表面の水を拭いた後、布の上に置く。
- ・ 出羽ペラで糊を置き擦り込むように伸ばす。
- ・ 乾かした後、柔らかく溶いた糊で補修する。

#### 【染めと水元】 3 時間

- ・ 糊を損ねないよう注意しながら藍に浸し染めする。
- ・ 斑にならないよう漬け込み直ししながら、酸化発色と浸しを繰り返す。
- ・ 充分染まったら流水で水洗いする。その際糊もよく落とす。
- ・ 色止めをした後乾かす。

#### 【色差し】 2 時間

- ・ 差し刷毛で顔料を擦り込み、変化をつける。





#### 4. 指導上の留意点

- ・デザインする際に空く部分が多いと型紙として弱いものになるため糊置きがうまくできないことになる。技術的な必然とデザインのバランスを指導する必要がある。
- ・カッターの替え刃は30度の刃先が使いやすい。
- ・紗を張る時や糊を置く時、藍で染める時にも一人では対応できないので必ずチームで作業する。
- ・色差しは顔料を少量刷毛の先端に馴染ませ円を描くようにぼかし込む。



5. 資料・参考文献 必要に応じて 嚮までお問い合わせ下さい。